

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長  
 ゲイリー・C.K.ホアン  
 台湾台北



第1313回 例会 平成27年6月9日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 馬場秀則ソングリーダー



■ 会長談話 小川秋實会長



前立腺は、男性にだけある臓器です。栗の実の大きさに膀胱の直下に尿道を取り囲むように存在し、精液の一部を作ります。前立腺の病気として多いものは、前立腺肥大症と前立腺ガンで、いずれも年を取るとともに起こりやすくなります。

前立腺肥大症は、前立腺の内側がこぶのように肥大して尿道を圧迫する病気です。日本人男性では80歳までに80%の人が前立腺肥大症になります。前立腺癌とは関係がありません。症状は、排尿しづらくなり、また排尿の回数が増えることですが、日常生活に不便を感じていなければ治療は不要です。薬で症状はある程度改善しますし、より効果的な治療には、尿道から機械でこぶを切り取る、あるいはレーザーで焼き切る方法があります。

前立腺ガンは、大変多いガンですが、その多くは進行が遅いため、前立腺ガンがあっても死因は多くの場合前立腺ガン以外の病気です。事実、前立腺ガン以外で死亡した高齢者の前立腺を調べたところ、過半数の人に前立腺ガンがあったと報告されています。前立腺ガンの早期は無症状です。進行すると、排尿障害、腰痛が起こります。腰痛は前立腺ガンが骨に転移したためです。

前立腺ガンの早期発見のため、日本では健診でPSA検査が行われています。PSA（前立腺特異抗原）は、前立腺ガンがあると血液中に増加します。ところが、欧米では健診でPSA検査をやるべきではないとしています。その理由は、PSA検査で前立腺ガンを早期発見した人に治療してもしなくても死亡率に差がないという結果が出たことと、積極的治療（手術や放射線治療）を受けた人に感染・尿もれ・勃起障害などの副作用が多いことからです。つまり、早期発見・早期治療をしても死亡率は減らず、治療の副作用が無視できないということです。

これに対し、日本泌尿器科学会は健診でのPSA検査を推奨しています。これを支持するデータとして、ヨーロッパでの最近の大規模な調査では、PSA検査をしたグループは、検査をしないグループに比べ、前立腺ガンによる死亡率が20%低いという報告が出ています。しかし、ヨーロッパでは、いまでもPSA健診を勧めていません。男性が前立腺ガンで死亡するのは約3%に過ぎず、前立腺ガン治療によるメリットよりも副作用によるデメリットのほうが大きいからです。

前立腺ガンのごく一部に進行が速く、致命的になるものがあります。年齢は40歳から70歳未満がほとんどです。そのようなガンを早期発見するにはPSA検査は意義がありそうです。すべての人に行うのではなく、対象を絞るべきだと思います。早期発見した前立腺ガンで悪性度が低い場合は、致命的なガンになるのは稀だとされています。このような場合に積極的治療を受けるか否かは、本人の考え次第です。

## ■ 伝達式

国際ロータリー会員表彰担当チームより、  
新会員を推薦した池田幸平会員に認証品が贈呈されました。



## ■ 慶 祝

6月誕生日祝い

- ・倉田秀伸会員
- ・市川満貞会員
- ・伊藤好会員
- ・鈴木一比古会員
- ・大谷智鶴会員



## ■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 久しぶりに雨らしい雨になりました。家庭菜園が元気になってうれしく思います。
- ◆伊藤好 1年間弊社商品をお買い上げ戴き有難うございました。
- ◆松田靖宏 先日の父の葬儀では色々お世話になりました。御礼申し上げます。
- ◆池田幸平 ルールの分からない者がラグビーを初めて観戦しました。明治が勝ちました。  
(発表 伊藤幸明委員長)

## ■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

## ■ 委員会報告

### ・5月30日(土) 地区会員増強セミナーの報告 馬場秀則次期会員増強副委員長



会場：松本キッセイ文化ホールにて  
基調講演では、パストガバナー都筑さんより、今後会員基盤セミナーとして、会員増強・会員維持とする説明があった。

1. ロータリーメンバーもピーク時より33%減少している。
2. 会員増強に関する戦略を作成する。
3. 増強の推進として
4. なぜ会員増強が必要なのか。

5. どのような人を入会させるのか。
6. 現状の把握、なぜ入会しないのか

会員維持として

1. 退会会員の退会理由を把握しておく
2. 親睦を深める
3. クラブの活性化
4. 奉仕活動をして、共に汗をかく

などの基調講演の後、各グループで分科会を開く

分科会では

1. 会長・幹事が会員増強の目標を持つことが必要である。
2. 各グループ純増10名を増やすことにする。
3. 銀行の関係者を各クラブに入会してもらうよう、お願いする。
4. 年齢別グループを作る
5. 松茸を食べる例会など企画して、会員増強をはかる

上伊那グループで会員増強委員会を開催するという話などで、まとめる。

・6月6日(土) 現・次年度合同地区インターアクト委員会及びIAC顧問教師連絡会  
矢野昌史地区インターアクト委員



会場：松本市しずか

議事 1. 2014～2015年度事業報告

2. 第23回IA地区大会について、小池晃南安曇農業高校IAC顧問より内容説明  
・海外研修生2名より報告をしてもらう。  
・インターアクトクラブ員は名刺交換会を行う。

3. IAC現況についての確認

4. 次年度「全国インターアクト研究会」の説明。9月25日～26日に京都で行わ

れる。

議事終了後、懇親会を行った。

・「ロータリーの友」6月号紹介 雑誌担当 熊谷健委員



横組み

・偉大な輝き(P1)一年を通しての感謝の気持。『ただ座って暗闇を呪うよりも、ろうそくをともした方がいい。』(孔子の言葉)

・ロータリーデー「高鍋ロータリーカップミニラグビー大会」(P19)

・世界の子どもたちに手を差し伸べる(P28~P33)

縦組み

・お気づきですか？(表紙裏) — 『1年間、ロータリーの創始者ポール・ハリスの写真に掲載してきました。写真は同じですが、そこには毎号違った言葉が入っています。見逃した方は、あらためて創始者の思いに触れてください。』

・子供たちに寄り添う いじめ・虐待・少年非行の現場から(P4~P8)カリヨン子どもセンター理事長坪井節子氏

『子どもたちと付き合いしていく中で、何が欠けたら、子どもたちが生きるか死ぬかのところまで追い詰められるのか、逆に何が回復される時に子どもたちが元気になっていくのか。3つの柱がある、と知りました。「生まれてきてよかったね。」「一人ぼっちじゃないからね。」「でも、あなたの人生はあなたしか歩めないからね。』子どもが自分の人生を自分で選んで誇り高く歩いていく、これが「人権保障」なのです。この3本の柱をきちんと立てていくと、死ぬか生きるかの子どもたちが立ち上がってきました。あらゆる人権侵害が起きている場所で、この3本の柱を立てていくことこそ、人権の擁護ということなのです。このことを私は子どもたちから教えられました。』

■ 出席報告

会員数34名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者24名 事前メイク2名  
出席率92.86% 前回出席率 修正なし (発表 平澤理委員)

■ 理事会報告

小向誠一幹事

1. 事務所の引越しについて(今後の日程・什器備品について)
2. ネパール地震災害に対する支援について
3. 内規の追加について
4. 次年度地区補助金事業について
5. 次年度RLI受講者について
6. 次期ガバナーエレクトについて
7. 6月の行事予定とメイクアップ扱いについて
8. その他

■ 総会

内規の追加改訂について小川会長より説明

■ 点鐘

13:30

次回例会

6月16日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

会員卓話・皆出席祝い

例会終了後:現・次年度合同理事会